

事業所名 第2さくら

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念	障がいの特性を持つ方が自分の選んだ場所で自分らしく暮らせる社会づくりを目指し、一人ひとりが実社会の中で力を発揮し本当の自立を目指す				
支援方針	「人の中で生きていく力」を得るために地域の方々とふれあい、関わることを進め「生活」「遊び」「集団」を体験しコミュニケーション能力の向上を視野に入れた支援を行います。生きていく力を少しでも養い、放課後から卒業する日のため、心豊かに過ごせる時間を提供し続けます。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	来所時の健康観察や家庭・学校からの申し送り。スケジュールや活動行程の視覚化。外出による社会的ルールやマナーの習得。下校後や水遊び時の衣類着脱や持ち物の整理整頓。など			
	運動・感覚	活動や遊びを通して姿勢保持や運動・動作の向上と活用を目指す。（リズム遊び・ビジョントレーニング・サーキットトレーニング・外遊び・水遊びなど）			
	認知・行動	必要な情報を認知しやすいよう環境を整え、創作活動や五感を十分活用できる活動の提供。（制作・リズム遊び・ビジョントレーニング・環境設定など）			
	言語 コミュニケーション	個々にあったコミュニケーション手段や能力を獲得。（絵カード・手話やサインの活用・文字の獲得・帰りの会での司会や発表など）			
	人間関係 社会性	余暇時間の過ごし方や集団活動への参加、遊びを通して他者とのかかわり方を学ぶ。（グループ活動・集団活動・ごっこ遊び・買い物体験・職場体験など）			
家族支援	本児の様子や家族との関わりの中で自宅でもできる支援方法や対処法などの相談援助を行います。保護者会やマルシェの開催で保護者同士のつながりの場を設けています。	移行支援	学校や併用事業所、相談支援事業所等と本人の現状と必要な支援等を共有し、生活環境をより良いものにしていきます。		
地域支援・地域連携	読み聞かせや出前講座などを利用しボランティアの方々との交流を図ったり地域の施設を利用したりすることで、地域の中に居場所を持つことが出来、みんなが安心して生活していけるよう支援しています。	職員の質の向上	虐待防止、身体拘束などの法定研修に加え、外部研修にも説教的に参加し職員間でアウトプットしていくことで事業所全体の質の向上に努めています。		
主な行事等	月のカレンダーづくり、季節行事にあわせた制作や活動、避難訓練（火災・地震）、熊放運動会、施設見学、調理実習、実験など				